



TOKAI CO-OP

SUSTAINABILITY REPORT

2023

東海コープ事業連合
サステナビリティレポート 2023

生活協同組合連合会
東海コープ事業連合



東海コープ事業連合は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

東海コープ事業連合の活動報告発刊にあたって



統括専務理事
小野 修三

2022年度は、世界的にはロシアのウクライナ侵攻による平和への危機と市民生活への負の連鎖、エネルギー不足から環境対応の悪化（原発振興や非再エネ化）、世界的なインフレと国内での円安による物価高騰、賃上げや労働力不足に加え、継続した感染症の第8波の到来など、組合員のくらしに大きく影響しました。

その中で、東海コープは第5次中期計画の初年度として、SDGsで掲げる目標を推進する会員生協の事業プロセスでの関与を強め、加えてポストコロナに向けた社会の変化に調和できる事業への転換を進めました。

特に重点課題として、組合員の利便性とペーパーレスに寄与するEC（e-フレンズ）の充実と利用率の向上、若年層やシニア層の満足度向上に向けた品揃え強化を進めました。具体的には、簡単便利、食品ロスを低減するミールキットの普及やフードマイレージ削減に貢献する県別商品の強化、さらに組合員の要望の高い常温帯商品の品揃えを強め、それを実現するための物流機能の再編を行いました。物流品質管理では、冷凍品質の向上に取り組みしました。

秋以降、継続的な値上げ基調で組合員のくらしの厳しさが増す中、価格プロモーションの強化が求められました。生産者が再生産できる価格を組合員とコミットすることを前提とし、組合員のくらしの厳しさへ共感すること、二律背反を受け止めつつ事業伸長させることを重視しました。

2023年度は、重点課題について継続して取り組みながら、会員生協のみなさんとSDGsで掲げる目標推進に向け、エシカル商品の普及の取り組みやCO₂削減、ペットボトルのリサイクル、フードロス削減などの具体的な目標を設定し検討していきます。また、生協商品の軟包材への切り替えやフードドライブのネットワークなど、生協の商品のこだわりや利用がSDGsの目標に貢献できることへの理解が広がるよう情報発信を含めて、会員生協のみなさんと一緒に取り組んでいきます。

2023年6月

東海コープ事業連合の理念

未来につながる安心生活 東海の豊かな自然と、人と人のつながりを大切にします

東海コープ事業連合について／生活協同組合連合会東海コープ事業連合は、東海3県で活動するコープぎふ・コープあいち・コープみえが会員となります。3生協から商品の企画・開発・調達、物流、情報システム等の事業の一部を委託された連帯組織で、組合員へのお役立ちと3生協の事業経営に貢献することをめざしています。

東海コープ事業連合 第5次中期計画【2022～2026（前期2022～2023／後期2024～2026）】

重点課題	1. 持続可能な基幹事業、組合員のくらしの願いに応える宅配事業となるよう会員生協主体の中期戦略に基づき、リノベーションと持続可能な事業への改革を進めます。	第5次中期計画 推進マーク※ 
	2. 魅力あるMDへの改革を進め、年代ごとの要望に応えます。	
	3. 東海コープの役割を明確にした店舗事業へ転換をします。	
	4. 宅配リノベーションの実現を担う物流基盤へ転換します。	
	5. 会員生協と事業連合で連携して経営構造の見直し、一体的な人材育成に取り組みます。	

※第5次中期計画の達成に向けて、東海3生協への貢献と一致団結して取り組んでいく姿勢を表現しました。

SDGsは生協・協同組合の理念と重なり合っています

生協は、助けあいの組織として、誰もが笑顔でくらすことができ、持続可能な社会であることをめざしてきました。誰も取り残さないというSDGsが求めるものは、生協の理念と重なり合っています。世界を変えるための壮大な目標であるSDGs、達成には一人ひとりの日々の生活や意識を変えることが不可欠です。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる	2 飢餓をゼロに	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する	3 すべての人に健康と福祉を	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
4 質の高い教育をみんなに	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する	5 ジェンダー平等を實現しよう	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う	6 安全な水とトイレを世界中に	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する	8 働きがいも経済成長も	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
10 人や国の不平等をなくそう	各国内及び各国間の不平等を是正する	11 住み続けられるまちづくりを	包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する	12 つくる責任 つかう責任	持続可能な生産消費形態を確保する
13 気候変動に具体的な対策を	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる	14 海の豊かさを守ろう	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する	15 陸の豊かさも守ろう	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
16 平和と公正をすべての人に	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する	17 パートナリシップで目標を達成しよう	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する		

SDGs（持続可能な開発目標）とは

2015年9月ニューヨーク国連本部において、150を超える国連加盟国首脳が参加のもと、国連持続可能な開発サミットで採択されたものです。2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標（SDGs）」です。本報告書では、SDGsの目標と関わりのある生協の事業・活動の事例にSDGsのアイコンを掲載しています。

INDEX

1 コープのエシカルな取り組み	03	7 安全と安心の取り組み	11
2 多様化する組合員のくらしに応える企画・紙面づくり	05	8 組合員のくらしに環境や資源に配慮したサービスを提案	13
3 商品の改善・開発	07	9 会員生協とともに進めるリサイクルの取り組み	13
4 より便利に商品を利用できる注文の仕組みの改善	08	10 働きやすい環境づくりと職員の学習	14
5 くらしにお役立ちできる店舗へ	09	11 くらしの保障をとおして安心と笑顔をお届け	14
6 組合員のくらしの幅を広げる品揃えに応える物流改革	10		



生協では地球や環境、社会や人々に配慮してモノやサービスを買うことを「エシカルなお買い物」（エシカル消費）と表現し、積極的に応援しています。エシカルとは「倫理的」という意味です。2022年度も様々な取り組みを行ってきました。

世界の子どもたちに笑顔を

ディルマ スクールバッグ提供支援プロジェクト

エシカルな取り組みとして、組合員と一緒に支える、「スクールバッグ提供支援プロジェクト」を2017年8月からはじめて5年が経過しました。ディルマ紅茶製品1点利用につき、1円を支援金として拠出されます。2022年度は2023年1月から小学校に入学するスリランカの子どもたちに、スクールバッグを55個届けました。残念ながら、今回もコロナの影響で贈呈式に参加できなかったため、大坪理事長のWebメッセージ（動画）を送りました。

2018年度～2022年度のスクールバッグ贈呈数					
年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
数量	79個	84個	77個	85個	55個



利用点数			
	東海コープの利用点数	スクールバッグの単価	贈呈数
2021年度	54,367点	633円	85個
2022年度	46,081点	832円	55個

レッドカップキャンペーン

「コープヌードルシリーズ」を中心に、商品案内2022年10月1週（40号）特集紙面で紹介しました。対象商品1点利用につき1円を国連WFP（人道支援機関）に寄付しています。

取り組み期間	2022年10月1週～11月2週
寄付金額	509,982円（宅配477,558円、店舗32,424円）



CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト

コアノンロール1点利用につき1円を、ユニセフを通じてアンゴラ共和国に寄付する活動です。寄付金は「アンゴラの子どもの教育環境を向上させる」ために使われます。

取り組み期間	2021年11月1日～2022年10月31日（第12期）
寄付金額	889,010円（宅配804,195円、店舗84,815円）



乳がんについての啓発と患者・家族への支援

CO・OP化粧品ピンクリボン運動

対象のCO・OP化粧品1点利用につき1円を、認定NPO法人J.POSH（日本乳がんピンクリボン運動）に寄付し、乳がんに対する啓発活動や、患者や家族の支援を進めていきます。

取り組み期間	2022年9月1日～10月20日
寄付金額	71,711円（宅配62,987円、店舗8,724円）



資源保護と環境に配慮した商品活動

コープの森づくり

商品利用を通じて、その商品の原料産地の森・川・海の手入れを守り育てる取り組みを、北海道の野付、沖縄県の恩納村、インドネシアのタラカン島で、取引先の皆さんと協力し交流しながら進めています。

「コープの森づくりマーク」がついた商品の利用1点につき1円を、森づくりをするための苗木代や管理費に充てられます。2022年度は約186万円を産地に送ることができました。2022年度は、北海道の野付を訪問し植樹資金贈呈式と植樹交流を行いました。また、沖縄県の恩納村では、3生協職員産地研修を実施し学習交流を行いました。

北海道野付 植樹交流



沖縄県恩納村 3生協職員産地研修



植樹本数の推移															
植樹した年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	累計	
沖縄県恩納村の里海づくり（サンゴ再生活動）	23	104	208	247	260	260	288	324	306	338	321	357	329	3,365	
北海道野付のお魚を増やす植樹活動	500	330	50	530	500	530	750	730	700	700	700	700	700	7,420	
インドネシア・タラカン島のマングローブ植樹活動	—	1,613	1,051	4,300	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	20,464	

【うなぎ資源対策協力金】

2022年10月25日（火）に一色漁港で開催された供養祭、放流式に参加し、うなぎ資源保護の取り組みを応援しました。2022年度はうなぎ資源対策協力金の対象期間（5月1週～8月5週）中、対象商品の利用1点につき3円を寄付金として拠出し、愛知県養鰻漁業協会へ225,324円、鹿児島県ウナギ資源増殖対策協議会へ58,694円、水産研究・教育機構へ6,522円の寄付を行いました。継続して、うなぎ資源の保護、増殖対策、種苗研究を応援しています。

うなぎの放流の様子



うなぎが太平洋上で産卵し、シラスうなぎの増殖に繋がればという願いを込めて放流しています。

持続可能な生産を支援

CO・OP洗剤環境寄付キャンペーン

対象のCO・OP洗剤1点利用につき0.5円を、WWFジャパンを通じて「インドネシア西カリマンタン州の小規模パーム農園の持続可能な生産を支援する」プロジェクトに寄付します。

取り組み期間	2021年5月21日～2022年5月20日
寄付金額	328,827円 （宅配305,394円、店舗23,433円）

WWFジャパン（公益財団法人世界自然保護基金ジャパン）WWFは100カ国以上で活動している環境保全団体で、1961年にスイスで設立されました。人と自然が調和して生きられる未来をめざして、サステナブルな社会の実現を推し進めています。WWFジャパンは、1971年、世界で16番目のWWFとして東京で設立された公益財団法人です。科学的な知見に基づき、「地球の温暖化を防ぐ」「持続可能（サステナブル）な社会を創る」「野生動物を守る」「森や海を守る」の4つのテーマを柱に活動をしています。



要望に応える品揃え・企画づくりと注文のしやすさの両立をめざしました。

選びやすさを大切に「ミールキット」「調味料・菓子」ページの品揃えを増やしました

「ミールキット」の商品を強化

2022年7月1週から「ミールキット」ページを変更し掲載商品を増やしました。「主菜・副菜・汁物の3点セット」「家族人数にあわせて選べる2人前・3人前」も新たに配置しました。



地元の野菜を使った、ミールキットの品揃えも大切にしています。

組合員の声に応じて企画充実

組合員からのリクエスト要望が多い「調味料」や「菓子・飲料」ページの掲載商品を増やしました。商品案内紙面では「ラベルレス飲料」や「コープクオリティ」を分かりやすく案内しています。



「エシカル・SDGs」の取り組みを継続します

4つの切り口からの「エシカル・SDGs」ページ

東海コープが大切にしている4つの価値『鮮度』『美味しさ』『こだわり』『エシカル(倫理的な消費)』を伝えるページで「栽培自慢」「はぐくみ自慢」「環境配慮」「国産素材」「こだわり」商品を案内しています。



SDGsの取り組みを発信するオリジナルアイコン

簡易版OCR注文用紙の改善

利用しやすく、わかりやすく

2022年8月3週より、主に高齢者の組合員に利用頂いている「簡易版OCR注文用紙」の文字・写真の大きさを拡大し、見やすい色使いやデザインに変更しました。



組合員のくらしを応援する取り組みを継続します

物価高対策のための「期間限定 くらし応援キャンペーン」を実施

昨今の海外情勢や円安の影響で商品の値上げが続いていることから、組合員のくらしを応援するため、東海コープでは2023年1月から期間限定で「くらし応援20%以上OFF」の取り組みを行いました。また、日本生協連も「全国くらし応援キャンペーン」を取り組み、組合員のくらしに貢献しました。

「くらし応援」については引き続き、取り組んでいます。



TVCM・Web広告・ハピハピボックスの取り組み

TVCM・Web広告

地域の皆さんに向けて生協のCMと広告を展開し、認知を広げ、加入いただくことを目的とし、東海3生協で一緒に進め取り組みを行っています。



料理家・食育インストラクター 和田 明日香さん

ハピハピボックス

コープぎふ・コープあいち・コープみえから、東海3県にお住まいの1歳未満のお子さまをお持ちの方へ、赤ちゃんの誕生をお祝いして29,504個のプレゼントをお届けし、9,727名の方に参加頂きました。

●中京テレビにて、ハピハピボックスのCMを放映中です。
放送時間／毎週月曜・木曜夕方6時56分頃、
情報番組キャッチ「かぞくのめばえ」の後



イメージ

商品の改善・開発

組合員の改善要望の「声」に応えました。



声をカタチに 改善・開発事例集の発行

会員生協組合員の商品づくりや商品改善、商品確かめ活動、商品を中心としたコミュニケーションの事例などを掲載しました。組合員・役職員・取引先への情報発信と共有化をめざし、2022年4月、10月に発行しました。

改善した商品の紹介事例

CO-OP 鹿児島黒酢入りたまねぎドレッシング
300ml 190ml 日本生協連(フンドーキン醤油)／国内製造

改善ポイント
21年度コープぎふの「総代商品モニター」の取り組みで、「味はよかったけれど、たまねぎのカットされたものが最後に残ってしまった。」という声を受け、改善の要望を出しました。全国の組合員からも同様の意見があり、今回たまねぎを「ダイスカット」と「すりおろし」のブレンドにすることで、最後まで使い切れるように改善しました。

組合員の「声」ですすんだ商品づくり事例

5種類の国産野菜が入った厚あげ(岐阜県産大豆使用)
岐阜県産大豆「フクユタカ」100%、にがりを使用し、5種類の国産野菜(たまねぎ・にんじん・とうもろこし・しいたけ・ごぼう)が入った、厚あげです。コープぎふ岐阜南支所でデビュー前の試作品のモニターを実施しました。

組合員の声
●5種類もの具材が入っており、大きめなカットのためそれぞれの具材の味もしっかりと感じることができました。4歳の娘もおいしいといって食べており、この商品一つで野菜も摂れるので、食卓に一品あるとバランスがとていいと思いました。
●岐阜県産の大豆使用、ボリューム感があって良いです。焼いて大根おろしと生姜を薬味にして、しょうゆで食べました。美味でした。
●厚あげを出汁醤油で煮詰め、一つはそのまま、もう一つはきのこや野菜と炊き合わせで頂きました。どちらもふっくらとして、とても美味しかったです。

組合員との商品づくり

●愛知で生まれたホットケーキミックス
愛知県産小麦「きぬあかり」を使用した地産地消のホットケーキミックスです。コープあいち三好・大府センターで、デビュー前にモニターを実施し、パッケージデザインを選定していただきました。また、コープあいち総代の皆さんにデビュー前の商品を確認めていただき、話題にしました。



組合員との商品づくりでデビューした商品数(リニューアルを含む)		
組合員との商品づくり	2021年度	2022年度
組合員発、会員生協発の商品	1	1
東海コープ発、会員生協で検討してもらう商品	3	2
東海コープ発、デビュー前に会員生協モニターを実施する商品	40	45
合 計	44	48

東海3県 地場・地元の商品

会員生協からの要望を基に、東海3県 地場・地元の商品の導入、開発をすすめました。東海3県の食文化・味・産業、地元高校が関わる産学連携の取り組み、地場の伝統産業の紹介ができる商品の導入、東海3県の農産物の産地開発、地元企業のコラボ商品の開発等、地場・地元に関わる様々な視点で商品を調査し、組合員が東海3県の魅力を再発見できるような商品の導入、開発をすすめました。

地域の食文化・味・産業を紹介する商品の企画

八百津せんべい いろいろせん



地元高校が関わる産学連携の取り組みを紹介する商品の企画

黒にんにくレストラン松阪万能だれ(三重県立相可高校×辻製油)



地場の伝統産業を紹介する商品の企画

尾州産ウールマフラー



より便利に商品を利用できる注文の仕組みの改善

e-フレンズリニューアルとアンケートを受けて改善を継続

2022年5月29日(日)に、e-フレンズサイトをリニューアルしました。リニューアル後にはアンケートを実施し、1,500件以上の回答をいただきました。いただいた組合員の声から改善を行ってきました。

●アンケートより改善(2022年10月)

トップボタンは並び替えができるように改善し、使い勝手が向上しました。



●アンケートより改善(2022年12月)

クチコミ(星の数)を参照して商品を購入しやすくなりました。クチコミの投稿日時が掲載できるようになり、いつ投稿された内容か確認できるようになりました。注文画面から、商品の動画を参照できます。



e-フレンズの利用者を増やす取り組み

2023年3月3週時点で、e-フレンズの利用率(全体の利用人数に対して、e-フレンズから利用された人の割合)は34.2%となっており、利用者の約3人に1人の割合で、e-フレンズから注文をいただいております。登録があるのに、e-フレンズから利用されていない人に向けて、お困り事が簡単に問い合わせできる『簡単問合せメール』の仕組みを導入しました。

単協名	e-フレンズ登録人数	登録率	e-フレンズ利用人数	利用率	シェア率
コープぎふ	54,056	51.6%	23,206	22.1%	27.2%
コープあいち	125,006	62.6%	65,468	32.8%	40.2%
コープみえ	50,737	50.8%	23,082	23.1%	29.3%
合 計	229,799	56.8%	111,756	27.6%	34.2%

『簡単問合せメール』の案内

e-フレンズに二次元コードで問合せが出来ます
こんなお悩みありませんか?
ログイン用の会員コードが分からない
どんなパスワードを設定してたっけ?
メールアドレスの入れは面倒だな...

かんたんSTEPですぐできる!
STEP1 スマートフォンで二次元コードを読み取る
STEP2 画面内のログインの項目をタップ
STEP3 メールアドレス画面から必要項目を入力してメールを送信

東海コープ公式アンバサダーの継続的取り組み

コープぎふ・あいち・みえの組合員より選出した『東海コープ公式アンバサダー』のInstagramへの投稿により、若年層中心に利用が広がっています。掲載された商品のうち69%の商品で、若年層(20～30代)の利用人数が増加しました(第4期公式アンバサダーの結果より)。



SNSと紙面との連動

Instagramに公式アンバサダーが投稿した内容を、紙面でも紹介して、SNSと紙面の連動を計っています。掲載された商品は、若年層からの利用が高くなっています。



コープのお店ならではの品揃え

地場地元商品・宅配の人気商品の導入

コープのお店ならではの品揃えを実現するために、宅配での組合員人気商品を32アイテム導入しました。雑貨部門では中型店で宅配人気商品を集合展開し組合員へおすすめしています。



魚屋の寿司

コープあいちコープ岩田から始まった魚屋の寿司はコープぎふ芥見店、コープあいち大高インター店・日進店に広がりました。何より美味しさにこだわったこの店にしかない商品となっています。



惣菜・お弁当グランプリ入賞

惣菜ではコンサルタントとつくり上げた
コープオリジナル「豚ロースかつ重」が日本
食糧新聞社主催の「お弁当惣菜グランプリ」
で入賞しました。店舗で自信を持って取り
組むことができました。



SDGsの取り組み

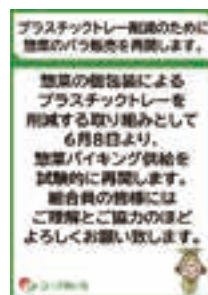
プラスチック削減の取り組み

店舗でお渡ししていたフォーク・スプーンをプラスチック製から木製のものに順次変更しました。また、惣菜部門では再生プラスチック製や植物由来の包材を積極的に取り入れ、取扱量は前年比116%、全体の19.6%となりました。2023年度からは店舗でペットボトルを回収し、CO・OP商品の包材にリサイクルします。



惣菜ノントレー陳列での供給再開によるプラスチック削減

コープあいち上社店では、惣菜の個包装によるプラスチックトレーの削減を目的に、東海コープ商品検査センター監修のもと惣菜のノントレー陳列での供給を試験的に再開しました。惣菜部門で使用しているプラスチックトレーの5%強(揚げ物分類では10%強)の削減効果がありました。



人材育成

生鮮部門では商品部と店舗担当者が共に学ぶことを目的として産地見学・商品開発・技術実習を行いました。



生産性向上

自動発注

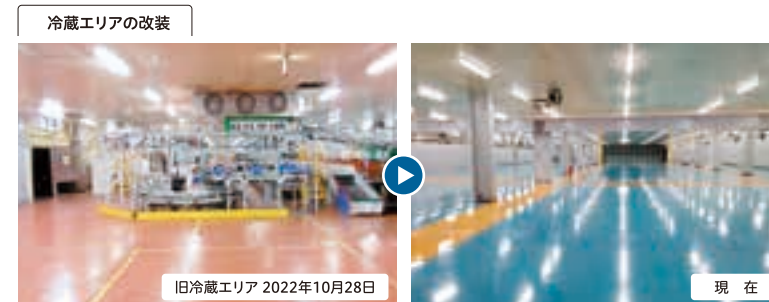
2022年度は食品・菓子の2部門で、すべての定番商品について自動発注を導入しました。これまでは、2部門最大4,800アイテムの商品をすべて人の手で在庫を確認しながら発注を行っていましたが、自動発注を導入したことで無駄な発注がなくなり在庫量が大きく減少しました。



桑名SCドライ専用センター化に向けて

組合員の要望が高い常温食品や雑貨の品揃えを広げられるよう、物流セットセンター(SC)の機能再編を行いました。

- ① 組合員のくらしの幅を広げる品揃えにえられるよう、桑名SCでピッキングできる商品数を1,950品から2,950品と1,000品増やせられるようにピッキング棚を約50棚増設し倉庫内を改修しました。
合わせて、取引先からの少量配送で企画できない商品を減らせられるよう、一部商品の在庫ができるようにもしました。
- ② 桑名SCで行っていた冷蔵食品のピッキングを小牧要冷SCに移管しました。
- ③ 冷蔵食品ピッキングの跡地を活用して、外注していた「ピッキングできない大型商品」の仕分けを自前化しました。



フードバンク活動

パッケージ変更や賞味期間が基準より短くなり、処分せざるを得ない食品を、「NPO法人セカンドハーベスト名古屋」と「NPO法人フードバンクぎふ」を通じて支援を必要とするご家庭や諸団体に届けています。

2022年9月からは、一宮市を中心に多岐にわたった活動を展開している「NPO法人のわみサポートセンター」を直接の提供団体として位置付けし、食品の提供をスタートしました(9-12月実績は524件)。

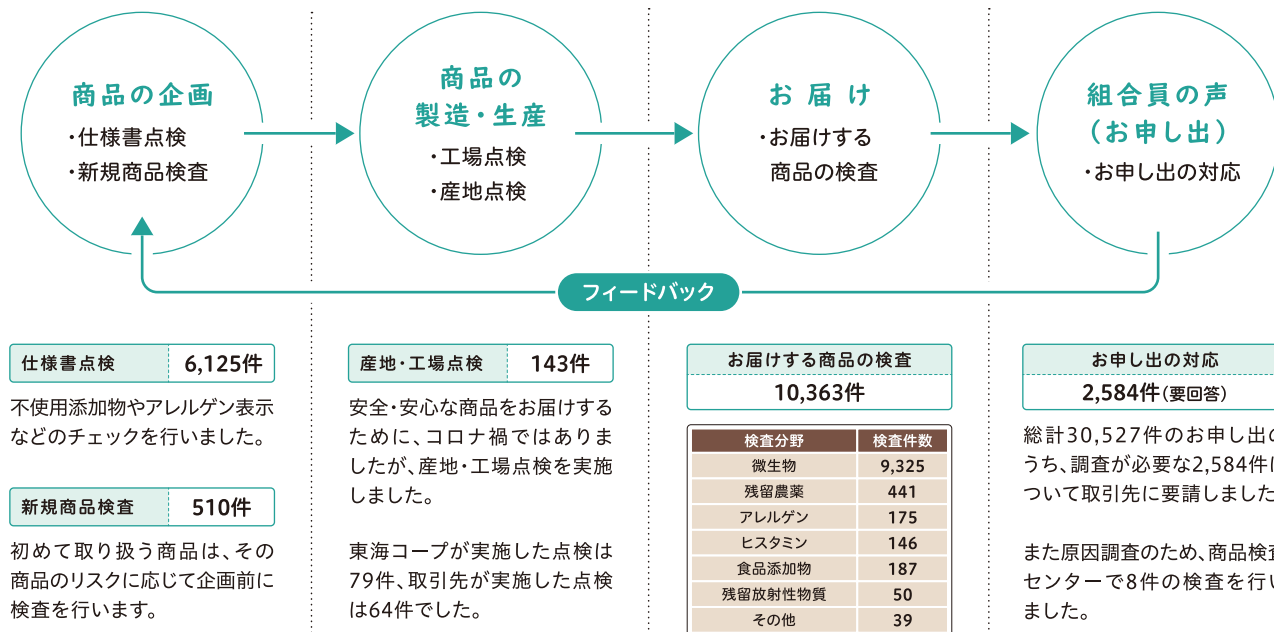
2022年度に提供した量は、約76トン(前年比105.8%)でした。この間、コロナ禍で各団体への支援件数は全体的には増加傾向となっていますが、反面、提供企業や団体の商品取扱い縮小などもあり、提供食品は減少傾向になっています。

引き続き、東海コープ事業連合は、継続的な支援活動を展開します。



提供団体	区 分	カテゴリ	重量 (kg)				個人・団体への支援件数			
			2020年	2021年	2022年	前年比	2020年	2021年	2022年	前年比
セカンドハーベスト 名古屋	個人支援	食 品	8,858	11,633	11,915	102.4%	5,656	7,811	6,982	89.4%
	団体支援		41,745	54,357	56,239	103.1%	6,125	6,942	7,089	102.1%
フードバンクぎふ	個人支援		3,861	5,863	4,242	72.4%	2,000	2,000	2,040	102.0%
フードバンクのわみ	個人支援		—	—	3,843	—	—	—	524	—
合 計			54,464	72,033	76,239	105.8%	13,781	16,753	16,635	99.2%

2022年度 品質保証の取り組み



リスクの早期発見と迅速な対応

仕様書点検による対応事例

eBASE（商品情報統合管理システム）による商品の仕様書の点検で食品表示が正しいか確認します。特にアレルギー表示の間違いは、重大事故につながります。2022年度は4件のアレルギー表示の間違いを指摘し、修正しました。

お申し出より商品事故の予兆をつかむ

毎日のお申し出内容から、商品事故の予兆を確認しています。ロールケーキの事例では、酸っぱいとお申し出について、直ちに検査センターの検査で、危害性がないことは確認できましたが、配達週の途中でお届けを中止しました。その後の調査で、原材料の入れ間違えがわかりました。

品質管理の力量アップをめざした取り組み

職員の力量アップをめざした取り組み

●「食の安全・食と健康情報」DBを新設しました。食の安全安心に関わる様々な情報を紹介しています。また職員向けに「食品表示検定」の学習会を行い、職員の合格率は75%（全国平均48.9%）でした。



●「苦情お申し出情報」DBをリニューアルしました。お申し出業務に必要な情報を商品分類別に案内しています。キーワード検索により、必要な情報を探しやすいようにしています。



取引先の力量アップをめざした取り組み

毎年、取引先の品質管理にかかわる方対象に、「虹の会品質管理研究会」を開催しています。2022年度は85社が参加され、「ヒューマンエラー対策」について講演会を開き、実際に起こった事例の対策について意見交流を行いました。

消費者庁「添加物不使用表示のガイドライン」策定への対応

ガイドラインは、添加物について、よりわかりやすい表示にするためのものです。会員生協向けの学習会や、商品案内の「おいしくって安全なおはなし」で組合員さんへ情報提供を行いました。また、eBASEの点検時に該当する表示を確認しています。

商品検査センターの学習・体験機能の活用

組合員や職員などの要望に応えた学習会や体験会

食の安全や食と健康をテーマにした、組合員・職員向けの学習会に対応しました。自分の一日の野菜摂取量を推定できるベジチェックの体験や、食品添加物や農業などの食の安全の考え方の学習会が人気でした。また、各生協の地域で行われたイベントに協力しました。2022年度は、職員への学習会要請が増えました。

	組合員		職員		イベント		合計	
	会場数	人数	会場数	人数	会場数	人数	会場数	人数
コープぎふ	8	215	6	175	9	500	23	890
コープあいち	7	52	1	20	2	30	10	102
コープみえ	1	20	—	—	3	5,900	4	5,920
東海コープ	—	—	1	10	—	—	1	10
総計	16	287	8	205	14	6,430	38	6,922

コープみえイベントの様子



食と健康の体験のためのツールが整いました

食品サンプルを選んで献立を作り、センサーに乗せるとその食事の栄養バランスが分かるSATシステムを導入しました。また、食事そのものの栄養成分（タンパク質、脂質、炭水化物、ミネラル類）を分析する装置の準備を整えました。今後、食と健康の情報提供に活用していきます。

SATシステム



生協の食の安全・食と健康についてお知らせする活動

中学生の家庭科授業に協力しました

長久手市立南中学校1年生（297人）の家庭科の授業に協力しました。手洗い実験や商品検査センターの見学、「持続可能な食生活を目指して」をテーマにした講話で生協の取り組みを紹介しました。また、検査センターでの体験について家族の感想を聞く課題を通じて、家族の方にも生協の取り組みを知っていただきました。



夏休み親子実験教室 ～リモート教室にも挑戦しました

2022年度は家庭で視聴できる動画を提供し、手づくりグミを作りながら、食品工場での衛生管理や食品表示について楽しく学ぶ実験教室を開催しました。また希望者には商品検査センターとリモートでつないで進める「オンライン実験教室」にも挑戦しました。小学生くらいのお子さんと保護者の方に食品製造や表示について関心を持っていただくことができました。



商品検査センターのウェブサイトをリニューアル

「おいしくって安全なお話」と「なるほどシート」の掲載記事を見直し、リニューアルしました。ウェブサイトに掲載されている記事を一通り読めば、食品衛生や食の安全に関わる基本的な事項が読み取れるように構成し直しました。



商品検査センターウェブサイト

職員教育

商品マイスター講座「安全安心」

職員向けの、食の安全安心に関わる学習支援をしました。食の危険情報に不安を感じる組合員に応えられるように、また、お申し出についての確実な対応ができるように、必要な知識と、食品を取り扱う心構えを学びました。商品検査センターの見学やお申し出対応コンテストなどの体験で、「実感できる学習」を進めることができました。



組合員のくらしに環境や資源に配慮したサービスを提案

ふとんのリフォーム・打ち直し

「羽毛ふとんのリフォーム」は、組合員が出されたふとんに入っている羽毛を洗浄して、さらに良質な羽毛(新品)をプラスして新しい側生地を充填します。

「わたふとんの打ち直し」についても、打ち直しの際に不足するわたについては新品のわたをプラスします。ふとんのリフォーム・打ち直しを行うことで資源の保全とCO₂排出削減につながります。また、2022年は使用済みの羽毛製品を回収・解体し、再び精製加工を行った「リサイクルダウン(エコ羽毛)」を活用し、羽毛ふとんの販売も行いました。



繰り返し使えるレンタルモップ

「レンタルモップ」は、使い捨てをせず、使用済みのモップを洗浄して繰り返し使用できる環境や資源に配慮したエコ商品です。

東海コープは、2013年から「レンタルモップ」を取り扱っており、2022年度は、約8.7万件の利用がありました。



大型洗濯機でモップを洗浄



洗浄後、細かなゴミや髪の毛を人の手で取り除き、品質チェック。その後、金属探知機にかけ、組合員へお届け

会員生協とともに進めるリサイクルの取り組み

資源リサイクルの取り組み

組合員にお届けした商品案内や容器を、会員生協を通して回収し再生品の原料として活用しています。

単位:kg

		2020年度	2021年度	2022年度
商品案内等(紙類)	回収量	8,523,610	8,865,520	9,200,492
	回収率	74.2%	75.0%	78.0%
卵パック(A-PET)	回収量	96,854	98,357	98,870
	回収率	74.2%	75.0%	54.7%
商品とカタログのお届け用ポリ袋	回収量	145,554	152,198	149,871
	回収率	40.5%	40.5%	42.9%

- 商品案内等(紙類)…再生紙の原料としています。
- 卵パック(A-PET)…再び卵パックなどの原料としています。
- 商品とカタログのお届け用ポリ袋…「ハンガー」「クリアファイル(文具)」「建設資材」などの原料としています。

働きやすい環境づくりと職員の学習

毎月実施するeラーニングによる学習、ワークライフマネジメント※の実現などに取り組んでいます。

ワークライフマネジメントの実現に向けた取り組み

「ノー残業デー」「フレックスタイム制」を導入しています。毎週木曜日のノー残業デーの取り組みでは、始業・終業時の館内放送、掲示板や館内モニターなどでの告知により、定時退勤を促し、仕事とプライベートを両立できる環境づくりに努めています。また、商品部や管理本部、宅配物流部などにフレックスタイム制を導入しています。働き方にメリハリをつけ、業務効率を意識しながら仕事に取り組むことができ、総労働時間の削減につなげています。

職員の意識調査アンケートを実施

コロナ禍でコミュニケーションが希薄になった職員の意識や職場の運営状況を把握するため、東海コープ全職員(626名)に意識調査アンケートを実施しました。アンケートは「コンプライアンス」「職場風土の状況」「意識調査」など40の設問に対して回答率は9割を超えました。また、職員が普段感じていることなど率直な意見も数多くいただき、働きやすい環境づくりにつなげています。

※ワークライフマネジメントとは、個人が主体的に自己を管理して仕事と生活の両方を充実させるという考え方

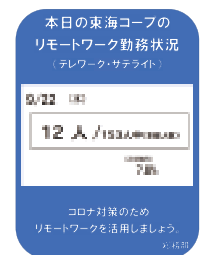
職員の学習

パソコン環境を活用したeラーニングを実施しています。パソコン環境のないパート・アルバイト職員には、教材を配布して職場学習を実施しています。2022年度は職員ハンドブックと連動させ、毎月「コンプライアンス」「情報管理」「働き方のルール」等の各単元をテーマとし、eラーニング学習を通して理解を深めています。



コロナ禍での取り組み

コロナ禍のなか、基本的な感染防止対策の徹底とワクチン接種の推奨を呼びかけました。テレワークを積極的に推進するためにスマートフォンのテザリング機能で社外(自宅など)からでも社内環境に接続できるようにセキュリティに配慮したネットワークの整備をし、労働環境の整備をすすめました。



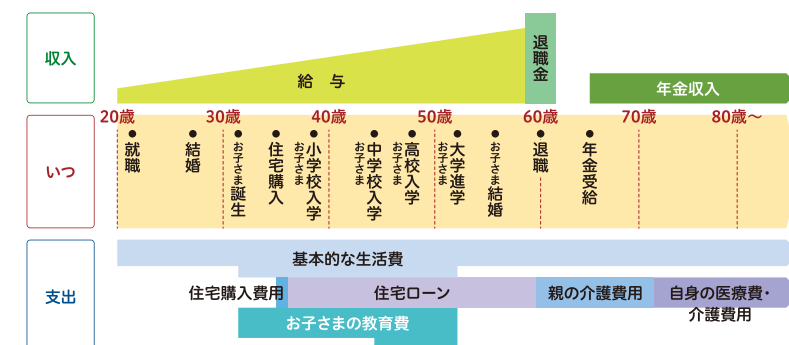
くらしの保障をとおして安心と笑顔をお届け

(株)コープサービス東海 保険部

コープあいち組合員対象の
無料ライフプランニングサービス利用者が
年間1,400人を超えました。

ライフプランを作成することで、10年後…20年後…どんなライフイベントがあって、必要資金はどれくらい必要なのか。家計の収支状況のシミュレーションをみることができ、多くの組合員から満足の声をいただいています。

●ライフプランニングイメージ



利用者の声(抜粋)

- 「現在も相談中ですが、様々なケースを想定して一緒に考えてくださいました(子どもの人数や働き方など)。今まで何となく貯金はしていたけど、何となく不安…という状態だったのが、ライフプランを作成してもらい、クリアになりました。今後とも長い付き合いで相談のってもらいたいです。」
- 「客観的にFPさんにアドバイスをもらえたことですごく安心しました。夫は相続や不動産の事が気になっていたので、そちらのアドバイスももらい参考になったそうです。今回は素敵なプランナーさんを紹介して頂きありがとうございました。」



TOKAI CO-OP

SUSTAINABILITY REPORT

2023



生活協同組合連合会 東海コープ事業連合

東海コープ事業連合の事業の概要

2023年3月20日現在

■事業の概要

名称	生活協同組合連合会 東海コープ事業連合
本部	愛知県名古屋市中区猪高町 上社字井堀25-1
設立	1994年4月1日
区域	岐阜県・愛知県・三重県
総事業高	908億円(2022年度) 総事業高は会員生協への出荷高、及び会費・分担金、 その他の事業収入を合計したものです。
出資金	9.86億円(2022年度)
職員数	584人(パート含む2023年3月20日現在)
東海3生協 の組合員数	1,008,822人(2023年3月20日現在)

■事業内容

商品事業	商品の仕入れ・調達、商品の開発・改善、 お申し出管理、品質管理業務・商品検査業務
宅配事業	宅配商品の商品案内書作成・企画、受注業務
店舗事業	店舗商品の仕入れ・調達、企画、プロモーション
情報システム事業	宅配・店舗事業のシステム開発・運用
物流事業	宅配・店舗商品の仕分け事業、 会員生協配送センターまでの物流管理
生活サービス事業	旅行事業、提携事業、チケット取扱い業務

■子会社の概要

株式会社コープサービス東海	
所在地	名古屋市中区伊勢山2-8-21 NKCBビル3F
業 務	損害保険代理店業務、 生命保険募集に関する業務

お問い合わせ

経営管理部 TEL 052-703-1769 FAX 052-703-5567

発行日：2023年6月14日 発行者：生活協同組合連合会 東海コープ事業連合



FSC® 認証

Forest Stewardship Council® (FSC®) は、責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする国際的な非営利団体です。FSCは、環境、社会、経済分野の利害関係者の合意によって支持された、責任ある森林管理の原則に基づく規格を定めています。この冊子はFSC® 認証紙を使用しています。



ベジタブルインクマーク

この冊子は、印刷インキ工業連合会が定めた大豆油、亜麻仁油、桐油、ヤシ油、パーム油等植物由来の油、及びそれらを主体とした廃食用油等をリサイクルした再生油を使用した植物インキを使用し、印刷しています。